

判読範囲内における規模別崩壊箇所数

判読範囲市町村名	(判読範囲)	幅50m以上の崩壊	幅50m未満の崩壊	崩壊箇所計	最大震度
小千谷市	(ほぼ全域)	117	640	757	6強
山古志村	(全域)	76	201	277	6強
川口町	(全域)	44	388	432	7
長岡市	(一部)	40	215	255	6弱
十日町市	(ほぼ全域)	25	468	493	6強
栃尾市	(一部)	22	275	297	6弱
魚沼市(旧堀之内町)	(全域)	11	484	495	6弱
魚沼市(旧守門村)	(ほぼ全域)	8	189	197	6弱
魚沼市(旧広神村)	(一部)	8	175	183	6弱
川西町	(一部)	3	13	16	6弱
南魚沼市(旧大和町)	(一部)	3	114	117	6弱
小国町	(一部)	2	65	67	6強
南魚沼市(旧六日町)	(一部)	2	68	70	6弱
越路町	(一部)	1	47	48	6弱
魚沼市(旧入広瀬村)	(一部)	0	3	3	6弱
魚沼市(旧小出町)	(ほぼ全域)	0	7	7	5強
塩沢町	(一部)	0	44	44	5強
中里村	(一部)	0	3	3	6弱
三島町	(一部)	0	7	7	6弱
見附市	(一部)	0	22	22	5強
魚沼市(旧湯之谷村)	(一部)	0	1	1	5強
計		362	3,429	3,791	

震度6強以上の市町村が、崩壊幅50m以上の大規模な崩壊のうち約7割を占めているが、崩壊幅50m未満の崩壊については約5割であった。

このことから、揺れの激しい地域においては崩壊の規模が大きくなったことが伺われる。